



地域を 守る 消防団員

町

で最も大きな組織の一つである大崎町消防団。団員はそれぞれの仕事に従事しながらも町の安全を守るため活動しています。地域をよく知ることから、災害発生時だけでなく、災害を未然に防ぐためにも欠かせない役割を担っています。

消防団とは

消防団は「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神に基づき、それぞれの市町村に設置された消防機関です。消防署に勤務する消防職員と違い、消防団員は普段、会社員や自営業者として働いており、地域で火災が発生した際などに自宅や職場などから出動し、消火活動を行います。消火活動以外にも、災害に備

えた訓練や、防火のための啓発活動など、多岐に渡って活動しています。

火災出動件数

	火 災				総数
	建物	林野	車両	その他	
令和元年	3		1	1	5
令和2年	3		2	7	12
令和3年	3	1		6	10

消防団の主な役割

〔平常時〕

- ◆各種訓練：災害活動に必要な基礎知識や技術を習得するための訓練、消火訓練などを定期的に実施
- ◆各種点検：災害等の有事の際に備えて定期的に防火水槽や消火栓を点検
- ◆啓発活動：住民への防災意識の向上のため、火災予防の広報や防火指導などを実施

〔災害時〕

火災発生時における消火活動、地震や風水害といった大規模災害時の救助・救出活動、警戒巡視など
地域住民の生命・身体・財産を守るために昼夜を問わず活動を行っています